

すると、人命にかかわるほか、講話した。

J S C A

新会長に金箱氏

社会と関わり緊密に

日本建築構造技術者協会（J S C A）は21日に2011・12年度役員による理事会を開き、木原碩美会長の後任会長として金箱温春副会長を

新会長に選任した。同日に開かれた総会で新役員が承認されたのを受けて議案審議を中断して理事会を開き、互選で決めた。このほか、副会長には、伊藤優、丹野吉雄、金田勝徳の3氏を選んだ。



選任後にあいさつした金箱

新会長は、活動の方針として、

▽東日本大震災を構造設計者の立場で検証し、専門家として提言・提案する▽社会との関わりを緊密なものにしていく▽活力を高め、元気をもって若者があこがれる職能、職業を目指す——を柱に据えること表明した。社会とのかか

わりについては、安全、安全に関して社会と親密な対応や情報発信などを行うとともに、それを通して職能や法整備の問題も解決していく。

また、3項目の方針を実現するためには、「身近なところからの積極的な活動への参加をお願いしたい。支部、サテライトの活動が重要になる」と呼び掛けた。写真。

港湾空港技術研究所 理事長に高橋氏



大島章宏国土交通相は、7

月1日付で高橋重雄港湾空港技術研究所研究主監を同研究所理事長に任命する人事を発表した。21日の閣議で了解を得た。

理事長は、3月までに候補者を公募していたものの、金澤寛前理事長の任期が満了し